

東京のまちづくり

東京都建設局

特集1 隅田川に映える橋のライトアップ

特集2 おうちで楽しむ! 動物園・庭園・植物園

特別特集 島しょ地域の振興を図る道路整備
～島民の生活を支える生命線となる基盤整備～

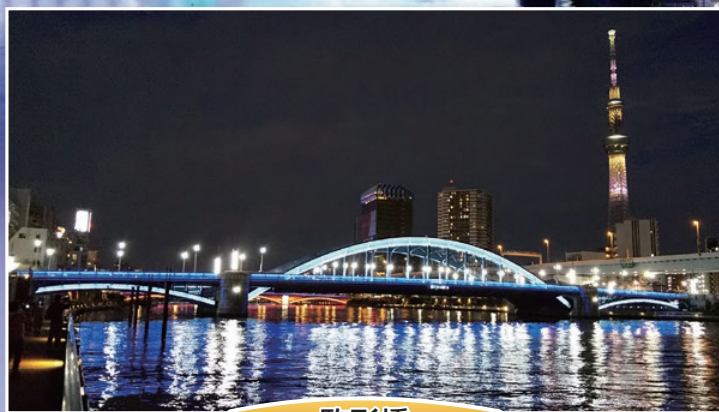
隅田川に映える橋のライトアップ

東京都が管理する隅田川に架かる橋では、ライトアップを行っています。ライトアップは12橋で行っており、隅田川沿いの水辺の賑わい創出や新たな観光資源としての活用を図っています。今回、新たに整備された10橋では、アーチや主桁など橋の主要な部分の構造や、橋それぞれの塗装色を生かした照明となっています。また、欄干部分(築地大橋ではアーチ部分)でカラー演出が可能となっており、ブルーに照らす医療関係者等応援ライトアップなどを行っています。

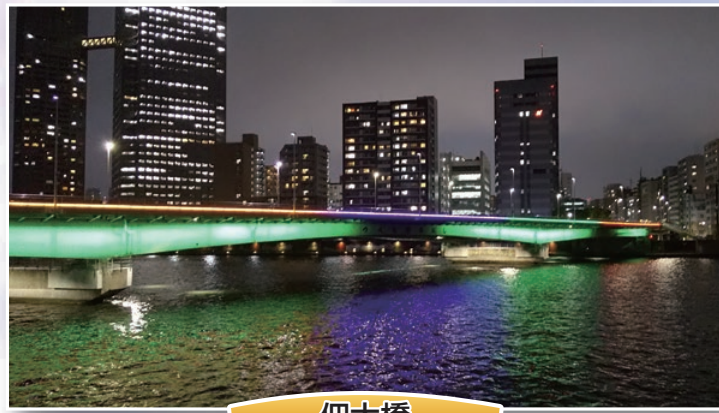
点灯時間：各橋毎日日没15分後～23時まで
※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、点灯日や時間等は変更となることがあります。詳細はホームページでご確認ください。



吾妻橋



駒形橋



佃大橋



築地大橋

建設局ホームページ
https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/road/sumidagawa_rightup.html



夢のみちオンラインイベント開催! ～8月は道路ふれあい月間!関連行事のお知らせ～

(公財)東京都道路整備保全公社と東京都は、都民のみなさんが道とふれあい、道に親しみを持ち、道が日々の生活に身近な施設であることを実感してもらうために、毎年8月の「道路ふれあい月間」の期間を中心に様々なイベントを開催しています。今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで開催します。道に関する楽しい企画、著名人のトークショー等、内容盛りだくさんのオンラインイベントです。夏休みの思い出作りには是非ご参加ください。

- 会場 (公財)東京都道路整備保全公社 夢のみち2021ホームページ
- 開催期間 令和3年7月30日から順次公開



問い合わせ先
 〒163-0720 新宿区西新宿2-7-1
 小田急第一生命ビル20階
 (公財)東京都道路整備保全公社
 「夢のみち」事務局
 TEL:045-633-1960
 H P:https://www.tmpc.or.jp/yume/



土砂災害防止に関する 絵画・作文を募集します!

「土砂災害防止月間」にあわせ、明日を担う小・中学生を対象に、土砂災害防止に関する絵画・作文を募集します! 詳細は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

- 対象者 都内在住・在学の小・中学生
- 題材 土砂災害及びその防止対策に関するもの
- 規格 (詳細は問い合わせ先まで)
《絵画》書き方・大きさは自由
《作文》400字詰め原稿用紙2～5枚
- 応募方法 応募作品にタイトル、学校名、学年、氏名を明記の上、9月15日(水)(消印有効)までに郵送で「土砂災害防止に関する絵画・作文」担当(〒163-8001東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都建設局河川部指導調整課)へ。



令和2年度
国土交通省優秀賞受賞
作品(抜粋)

問い合わせ先 河川部指導調整課
TEL:03-5320-5406

こどもはどんな色? クロキツネザルの赤ちゃん誕生

恩賜上野動物園 飼育展示課 西園飼育展示係 宇野 なつみ

上野動物園の「アイアイのすむ森」で展示しているクロキツネザルは、野生ではアフリカ大陸の南東にあるマダガスカル島の森に生息しています。雌雄で体の色が異なり、オスは黒一色ですが、メスは背中が茶褐色、腹はクリーム色、アゴから耳の房毛が白色、の3色です(写真1)。2016年に来園した「イライ」(オス)と「ママ」(メス)は相性がとてもよく、2018年と2019年に1頭ずつ子どもを生み育てました。そして2021年3月23日にも、また赤ちゃんが誕生しました。

さて、クロキツネザルの子はどんな色をしているのでしょうか? 実は生後しばらくは、雌雄ともに母親と似た茶色っぽい色です。生まれてすぐの赤ちゃんは、母親の腹に腹巻きのように横向きの姿勢でしがみついています。母親の色に似ていることで、赤ちゃんが目立ちにくく、身を守るのに都合がよいと考えられています。そしてオスは生後5～6週、ちょうど母親の体から離れ始めるころまでに黒く変わります。ただし耳の房毛の色は初めから雌雄で異なり、メスは白色です。2021年生まれの子(写真1)は、2019年生まれのオス(写真2)に比べて耳の房毛が白いの、メスとわかります。

今年生まれの子は順調に育っており、4月末現在、母親の腹から背中に移動することが増えました。「アイアイのすむ森」は新型コロナウイルス感染症対策のため閉館していますが、みなさまに親子の姿をご覧いただける日を楽しみにしています。

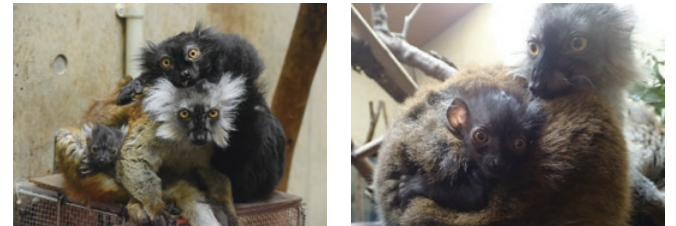


写真1: 黒色が父イライ、褐色が母ママ、ママにつかまっているのが子ども(生後22日)

動物園の“かお” 多摩動物公園 インドサイ



2020年12月に横浜市金沢動物園から多摩動物公園にやって来たインドサイの「ゴボン」(メス)です。